

PBR1倍割れ解消 見極め指標

外国人投資家の参入で株価は上がる！

2023/03/31

市場区分の見直しに関するフォローアップ会議

市場区分見直しの実効性向上に向けて、施策の進捗状況や投資家の評価などを継続的にフォローアップし、上場会社の企業価値向上に向けた取組や経過措置の取扱い、ベンチャー企業への資金供給などに関する追加的な対応について議論を行うため、エコノミスト、投資家、上場会社、学識経験者その他の市場関係者が参加する有識者会議を設置いたしました。

設置要綱	
メンバーリスト	

市場区分見直しの概要については、こちらをご覧ください。

- [市場区分見直しの概要](#)

開催状況

第1回（2022年7月29日開催）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の要請内容

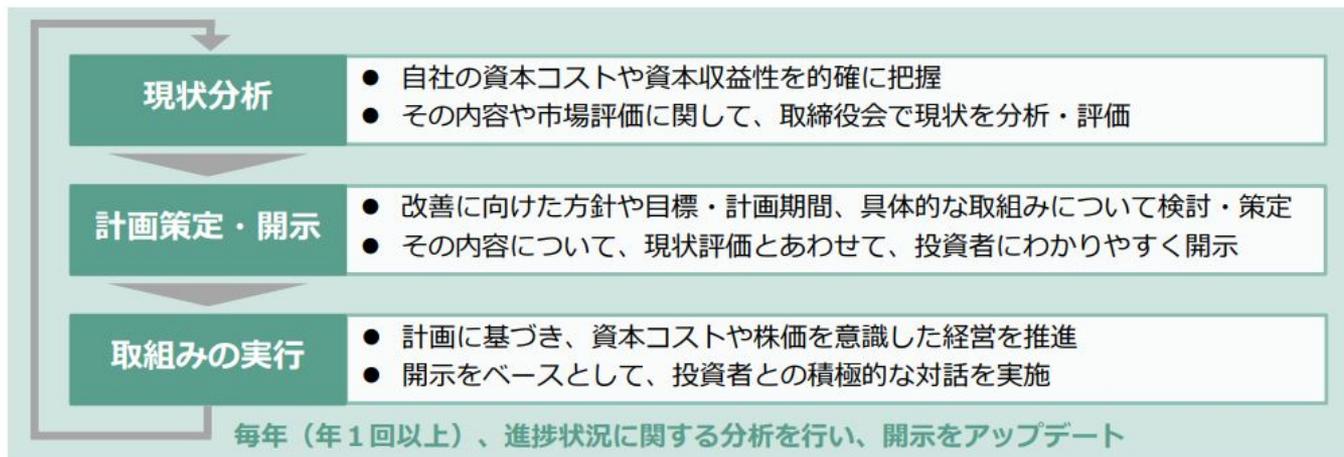


対象

- プライム市場・スタンダード市場の全上場会社が対象です。

対応

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、以下の一連の対応について、継続的な実施をお願いいたします。



※ 各対応を実施するにあたってのポイント・留意事項について、P 3以降で取りまとめております。

開始時期

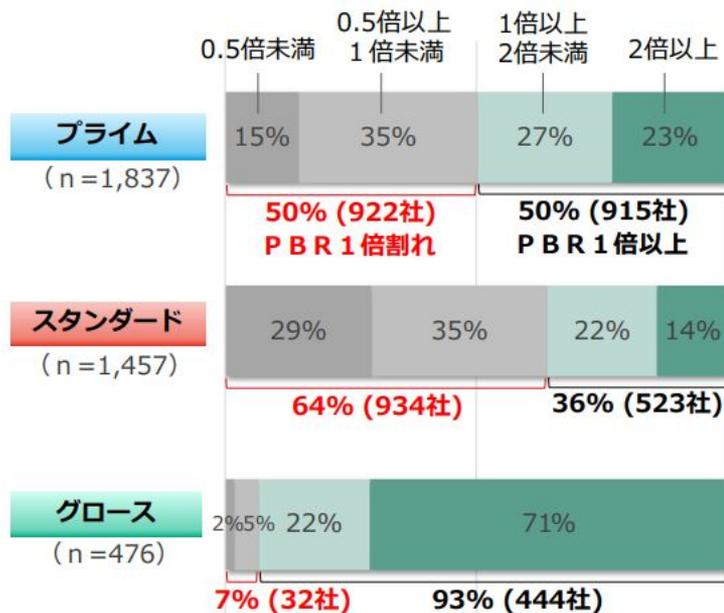
- 計画策定・開示の前提として十分な現状分析や検討を行っていただくことが肝要であることから、開示について具体的な開始時期の定めはありませんが、**できる限り速やかな対応**をお願いいたします。
 - ※ 現状分析や検討に一定の期間を要する場合には、まずは計画策定・開示に向けた検討状況や開示の見込み時期を示したうえで、計画策定が完了した時点で改めて具体的な内容について開示するなど、段階的に開示を拡充していくことも考えられます。

出典：
[市場区分の見直しに関するフォローアップ会議（2023年3月31日）](#)

2. (2) P B R (株価純資産倍率)

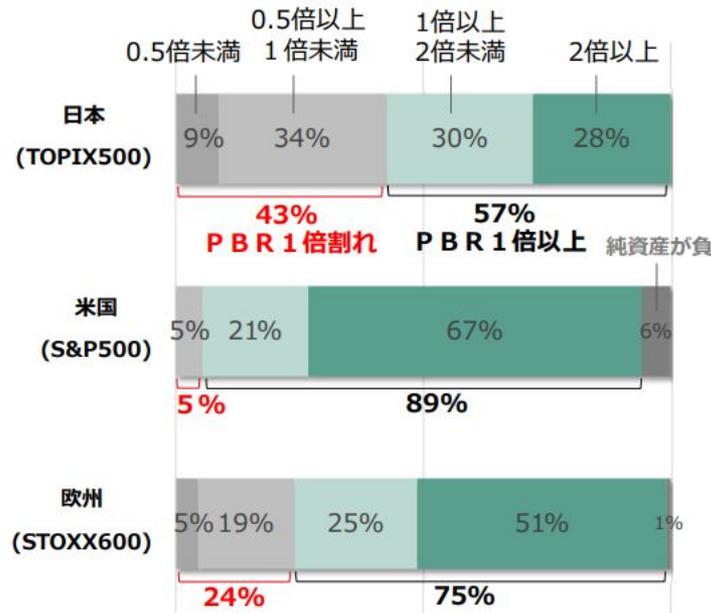
- P B R 1倍割れがプライム市場の50% (922社)、スタンダード市場の64% (934社)
- 主要株価指数の構成企業のうちP B R 1倍割れの企業の割合は、米国 (S&P500) 5%、欧州 (STOXX600) 24%に対して、日本 (TOPIX500) は43%

市場区分別のP B Rの分布



注: QUICKから取得したデータを東証で加工、2022年7月1日時点(外国会社を除く)

P B Rの海外比較 (主要企業)



注: Bloombergから取得したデータを東証で加工、データが得られる企業のみ抽出、2022年7月1日時点

出典:
[市場区分の見直しに関するフォローアップ会議 \(2022年7月29日\)](#)

外国人投資家の機運

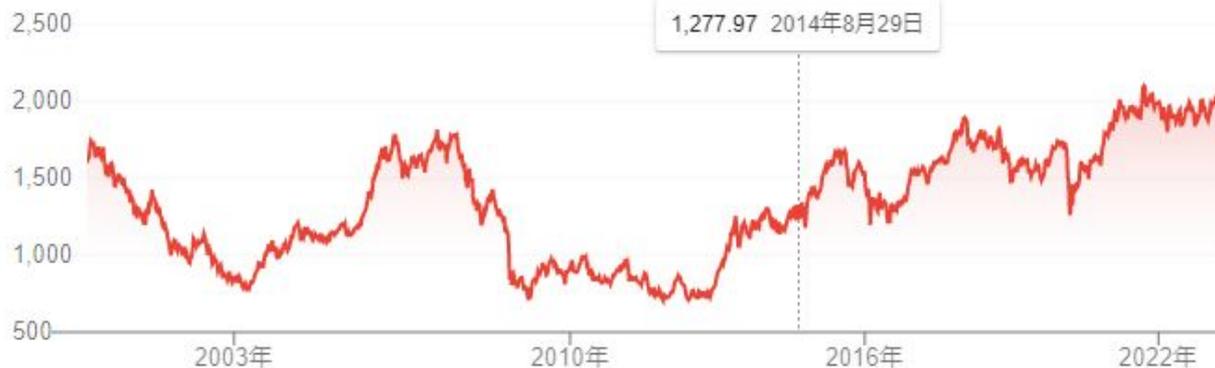
市場概況 > 東証株価指数

2,003.50

+404.49 (25.30%) ↑ 全期間

3月31日 15:00 JST • 免責条項

1日 | 5日 | 1か月 | 6か月 | 年初来 | 1年 | 5年 | 最大



”伊藤レポート”

PBRを上げる方法

期待値

資本効率

$$\text{PBR} = \text{PER} \times \text{ROE}$$
$$\frac{\text{Price}}{\text{BPS}} = \frac{\text{Price}}{\text{EPS}} \times \frac{\text{EPS}}{\text{BPS}}$$

1. 期待値を上げる
2. 資本を減らす
3. 利益を増やす

見るべき指標

ROE: 8%以上なら上昇可能性高い

株主還元: 配当や自己株式取得に積極的か

株主構成: 経営陣に「プレッシャー」を与えられるか

インセンティブ: ストックオプションや経営者の意欲

経営計画: 将来の「成長」が描けているか

素晴らしい銘柄を探そう！

- 本当に素晴らしい銘柄は、**長期間にわたって成長を続ける**
- 見極めるポイントは、**実績、ビジネスモデル、経営者の考え方**
- 理想の投資法は「**素晴らしい企業を見つけ、それを良いタイミングで買い、素晴らしい企業である限り持ち続けること**」

無料メールマガジンへのご登録を！

つばめ投資顧問 